

こんな業務に RPA を導入しています

Power Automate 等の使い方などを紹介している本通信ですが、今回は業務 DX 勉強会のアンケートでもご要望があった、実際にどのような業務に RPA が導入されているか本学の事例をご紹介します。

地域連携課では、従前は外部から教員派遣・講師派遣の依頼がある場合、PDF もしくは紙媒体の依頼文書を受け取り、Excel ファイルにデータを手入力していました。また、受け取った依頼文書は教員等に送付する必要がありました。派遣数は令和5年度で約740件あり、これを一部でもシステム化できれば、業務量を減らせるのではないかと相談があり、地域連携課と DX 推進室の担当者間で実際の業務の状況を踏まえてどのような業務を自動化できるか打ち合わせを行い、構築・テスト・フィードバックに基づく修正を行い、最終的に図1のような RPA を構築しました。

講師派遣依頼校では派遣依頼を行う上で紙による決裁が行われていると想定されることから、本 RPA では講師派遣依頼校に Microsoft Forms から依頼事項等について直接入力してもらい、それを PDF で出力して講師派遣依頼校に送付しています。このデータを蓄積する仕組みにより、本学側での手入力の手間を削減したほか、Microsoft Forms の入力の際には必須記載事項を設定することで必要な情報の入力漏れが起こらないようになっています。また、派遣申請の承認アプリを作成し、派遣依頼文書の確認後に承認すると指定する担当教員や担当事務に自動で派遣依頼文書が送付される仕組みになっています。なお、このアプリでは、各申請を検索して処理が済んでいるかなどを確認できるようになっています。

今後も引き続き本学の業務の RPA 事例をご紹介します。業務効率化等の参考としていただき、RPA の構築などについて興味がありましたら DX 推進室までご相談ください。

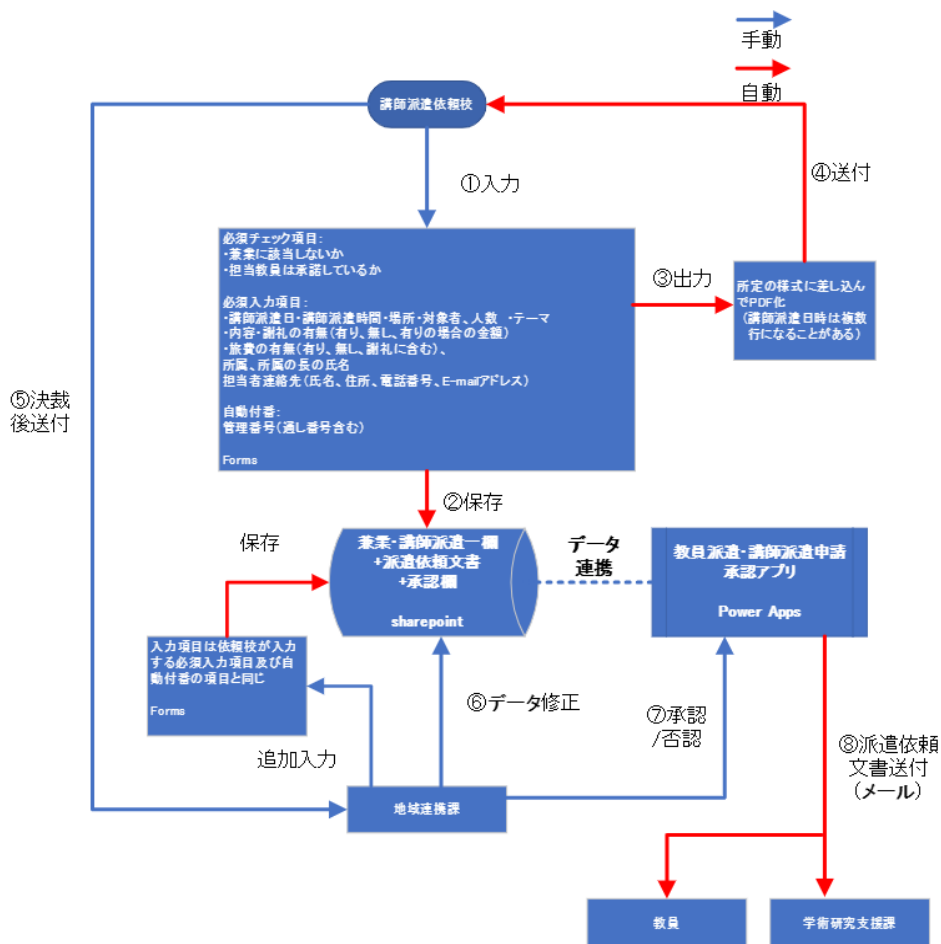


図1: 教員派遣・講師派遣申請受付システムフロー図